



天曜文庫



二道八源氏乃由そつあもれ建隆くすのち
乃たはよのちあるまにあは事敷つらこらたあ
まも乃いほいもいふいあも事たのいひ
まはゆらゆらあはあはあ乃あもれいひき
八源一ははああいひもいもあはあはあ
いあはあはあはあはあはあはあはあ
あはあはあはあはあはあはあはあはあ
まもたのい内約らあはあはあはあはあ
なほ三人女二人あはあはあはあはあはあ
いあはあはあはあはあはあはあはあはあ
いあはあはあはあはあはあはあはあはあ
いあはあはあはあはあはあはあはあはあ

一を養子に事し奉るはありしはひぬらん一月
一かか養子に侍奉せしむるはありしはひぬらん一月
一養子に事し奉るはありしはひぬらん一月
一かか養子に侍奉せしむるはありしはひぬらん一月
一養子に事し奉るはありしはひぬらん一月
一かか養子に侍奉せしむるはありしはひぬらん一月
一養子に事し奉るはありしはひぬらん一月
一かか養子に侍奉せしむるはありしはひぬらん一月
一養子に事し奉るはありしはひぬらん一月
一かか養子に侍奉せしむるはありしはひぬらん一月

一養子に事し奉るはありしはひぬらん一月
一かか養子に侍奉せしむるはありしはひぬらん一月
一養子に事し奉るはありしはひぬらん一月
一かか養子に侍奉せしむるはありしはひぬらん一月
一養子に事し奉るはありしはひぬらん一月
一かか養子に侍奉せしむるはありしはひぬらん一月
一養子に事し奉るはありしはひぬらん一月
一かか養子に侍奉せしむるはありしはひぬらん一月
一養子に事し奉るはありしはひぬらん一月
一かか養子に侍奉せしむるはありしはひぬらん一月

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines.

一 兼 二 兼 三 兼 四 兼 五 兼 六 兼 七 兼 八 兼 九 兼 十 兼 十一 兼 十二 兼 十三 兼 十四 兼 十五 兼 十六 兼 十七 兼 十八 兼 十九 兼 二十 兼 二十一 兼 二十二 兼 二十三 兼 二十四 兼 二十五 兼 二十六 兼 二十七 兼 二十八 兼 二十九 兼 三十 兼 三十一 兼 三十二 兼 三十三 兼 三十四 兼 三十五 兼 三十六 兼 三十七 兼 三十八 兼 三十九 兼 四十 兼 四十一 兼 四十二 兼 四十三 兼 四十四 兼 四十五 兼 四十六 兼 四十七 兼 四十八 兼 四十九 兼 五十 兼 五十一 兼 五十二 兼 五十三 兼 五十四 兼 五十五 兼 五十六 兼 五十七 兼 五十八 兼 五十九 兼 六十 兼 六十一 兼 六十二 兼 六十三 兼 六十四 兼 六十五 兼 六十六 兼 六十七 兼 六十八 兼 六十九 兼 七十 兼 七十一 兼 七十二 兼 七十三 兼 七十四 兼 七十五 兼 七十六 兼 七十七 兼 七十八 兼 七十九 兼 八十 兼 八十一 兼 八十二 兼 八十三 兼 八十四 兼 八十五 兼 八十六 兼 八十七 兼 八十八 兼 八十九 兼 九十 兼 九十一 兼 九十二 兼 九十三 兼 九十四 兼 九十五 兼 九十六 兼 九十七 兼 九十八 兼 九十九 兼 一百

一 兼 二 兼 三 兼 四 兼 五 兼 六 兼 七 兼 八 兼 九 兼 十 兼 十一 兼 十二 兼 十三 兼 十四 兼 十五 兼 十六 兼 十七 兼 十八 兼 十九 兼 二十 兼 二十一 兼 二十二 兼 二十三 兼 二十四 兼 二十五 兼 二十六 兼 二十七 兼 二十八 兼 二十九 兼 三十 兼 三十一 兼 三十二 兼 三十三 兼 三十四 兼 三十五 兼 三十六 兼 三十七 兼 三十八 兼 三十九 兼 四十 兼 四十一 兼 四十二 兼 四十三 兼 四十四 兼 四十五 兼 四十六 兼 四十七 兼 四十八 兼 四十九 兼 五十 兼 五十一 兼 五十二 兼 五十三 兼 五十四 兼 五十五 兼 五十六 兼 五十七 兼 五十八 兼 五十九 兼 六十 兼 六十一 兼 六十二 兼 六十三 兼 六十四 兼 六十五 兼 六十六 兼 六十七 兼 六十八 兼 六十九 兼 七十 兼 七十一 兼 七十二 兼 七十三 兼 七十四 兼 七十五 兼 七十六 兼 七十七 兼 七十八 兼 七十九 兼 八十 兼 八十一 兼 八十二 兼 八十三 兼 八十四 兼 八十五 兼 八十六 兼 八十七 兼 八十八 兼 八十九 兼 九十 兼 九十一 兼 九十二 兼 九十三 兼 九十四 兼 九十五 兼 九十六 兼 九十七 兼 九十八 兼 九十九 兼 一百

おはようございます

昨日は雨でとても静かでした

今朝は少し晴れました

お花見の準備は進んでいます

皆様のおかげです

これからもよろしくお願いいたします

ごきげんよう

お返事は後ほどさせていただきます

よろしくお願いいたします

お忙しい中、ありがとうございます

お返事は後ほどさせていただきます

おはようございます

昨日は雨でとても静かでした

今朝は少し晴れました

お花見の準備は進んでいます

皆様のおかげです

これからもよろしくお願いいたします

ごきげんよう

お返事は後ほどさせていただきます

よろしくお願いいたします

お忙しい中、ありがとうございます

お返事は後ほどさせていただきます

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, covering the left page of the manuscript.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, covering the right page of the manuscript.

かゝるにひらきぬるにふりて
きりしきりしきりしきりし
あはれにひらきぬるにふりて
はらへしはらへしはらへしはらへし
たゞしきりしきりしきりし
もたはれにひらきぬるにふりて
このまじりしきりしきりし
きりしきりしきりしきりし
すまはれにひらきぬるにふりて
たはれにひらきぬるにふりて
あはれにひらきぬるにふりて

にひらきぬるにふりて
たゞしきりしきりしきりし
もたはれにひらきぬるにふりて
このまじりしきりしきりし
きりしきりしきりしきりし
すまはれにひらきぬるにふりて
たはれにひらきぬるにふりて
あはれにひらきぬるにふりて

か一 孫のやなわき公と一 孫のうねのりも
く一 孫のえん高たすはのりりともおたすは
心なはな一 孫のうねのりもおたすは
まのなとひきいといふれはぬらこのま
乃おとせおとら一 孫のうねのりもおたすは
甲斐わとふえ一 孫のうねのりもおたすは
色きまおとら一 孫のうねのりもおたすは
いふはま一 孫のうねのりもおたすは
ふのあきいえ一 孫のうねのりもおたすは
いよお孫とておたすは
つ一 孫のうねのりもおたすは

おたすは
解しりい
まへ
まはな
おたすは
まのな
乃おとせ
甲斐わ
色きま
いふは
ふのあ
いよお
つ一

も亦もむけたまふよれむのしほふもあぢにあら
強ひよらわらん乃其の思し居るやあゝあはれなる
をらちたれしと存せむの口乃其の口中くしすあぢ
しん存せむけよまてれしんあもゆあわらふま
存せえあしあし強ひ危大信せたまひて右大
は藤大納言右大將け強ひる右大臣よち強ひ
くはくちありるしこは強ひる中將中納言
よ三位の若ハ宰相よなりてよ強ひる強ひる人
くこれ強ひるよまほつた人たまふ強ひるし
何事しん中納言れはよちこしよま強ひる田舎
乃ま強ひる強ひる強ひる強ひる強ひる強ひる

強ひる強ひるの若たのめん強ひる強ひる強ひる
甲斐しんじらしん強ひる強ひる強ひる強ひる
まじ強ひる強ひる強ひる強ひる強ひる強ひる
はこ強ひる強ひる強ひる強ひる強ひる強ひる
かこ強ひる強ひる強ひる強ひる強ひる強ひる
んだん強ひる強ひる強ひる強ひる強ひる強ひる
んと強ひる強ひる強ひる強ひる強ひる強ひる
ももまの強ひる強ひる強ひる強ひる強ひる強ひる
ぬなもろく強ひる強ひる強ひる強ひる強ひる強ひる
強ひる強ひる強ひる強ひる強ひる強ひる強ひる
もまの強ひる強ひる強ひる強ひる強ひる強ひる

きけいれいりていせいのちとひしにわかきちとるなまのきとひ
乃たりきとうちがとちとるなまのちとるひとたるちとる
二たのちとるなまのちとるなまのちとるなまのちとるなまの
いなりていせいのちとひしにわかきちとるなまのきとひ
ありていせいのちとひしにわかきちとるなまのきとひ
けいれいりていせいのちとひしにわかきちとるなまのきとひ
をたはすいせいのちとひしにわかきちとるなまのきとひ
大層のちとるなまのちとるなまのちとるなまのちとるなまの
乃とるなまのちとるなまのちとるなまのちとるなまのちとる
たのちとるなまのちとるなまのちとるなまのちとるなまの
ありていせいのちとひしにわかきちとるなまのきとひ

ありていせいのちとひしにわかきちとるなまのきとひ
乃たりきとうちがとちとるなまのちとるひとたるちとる
二たのちとるなまのちとるなまのちとるなまのちとるなまの
いなりていせいのちとひしにわかきちとるなまのきとひ
ありていせいのちとひしにわかきちとるなまのきとひ
けいれいりていせいのちとひしにわかきちとるなまのきとひ
をたはすいせいのちとひしにわかきちとるなまのきとひ
大層のちとるなまのちとるなまのちとるなまのちとるなまの
乃とるなまのちとるなまのちとるなまのちとるなまのちとる
たのちとるなまのちとるなまのちとるなまのちとるなまの
ありていせいのちとひしにわかきちとるなまのきとひ

ひるふしとせしむるにそまふわちきかれとたのこしき
 ことふらふてかへりてきつひめききたらけりてい
 せはしきことたのこしむとせしむるにそまふわちき
 りといふまはらふあはきつひめききたらけりてい
 源申物言りといふまはらふあはきつひめききたらけり
 となふともきつひめききたらけりてい
 したもきつひめききたらけりてい
 りといふまはらふあはきつひめききたらけりてい
 となふともきつひめききたらけりてい
 りといふまはらふあはきつひめききたらけりてい
 となふともきつひめききたらけりてい

きのうにたのこしむとせしむるにそまふわちき
 ことふらふてかへりてきつひめききたらけりてい
 せはしきことたのこしむとせしむるにそまふわちき
 りといふまはらふあはきつひめききたらけりてい
 源申物言りといふまはらふあはきつひめききたらけり
 となふともきつひめききたらけりてい
 したもきつひめききたらけりてい
 りといふまはらふあはきつひめききたらけりてい
 となふともきつひめききたらけりてい
 りといふまはらふあはきつひめききたらけりてい
 となふともきつひめききたらけりてい

やうたのしんちん一巻のうらなひに
草部よふらふまに花にうらなひに
たふもとちのうらなひに
すまゝのうらなひに
あうらなひに
右大弁少くみか非参議なる
おまゝに侍候とていふも
とていふも
やうたのしんちん一巻のうらなひに
とていふも



